

2022 年度
春期海外日本語教壇実習プログラム
【外国語学部・大学院生対象】
募集案内



京都外国語大学
日本語学科
国際部

海外日本語教壇実習プログラムの目的

本学で日本語教師を目指している学生を、海外の日本語教育機関に派遣し、諸外国における日本語教育の現場を経験することにより、本学の日本語教師志望者及び海外での日本語学習者への支援、並びに日本語及び日本文化等を普及することを目的としています。

<目 次>

概要	1
日程表(予定)	3
I.参加する際の留意点・約束事.....	5
II.単位認定について.....	6
III.受入れ機関	6
IV.海外旅行傷害保険	6

＜概 要＞

実習先	東呉大学(台湾)
実習期間・内容	春期休暇中の2週間を利用して、 <u>対面(渡航型)</u> で日本語教壇実習・授業見学を行う ※ただし、台湾への渡航に際し、隔離等の入国制限がある場合は、中止とする。プログラムの実施可否については、12月1日時点で判断する予定。
出願資格	次の①～④(大学院生は①④のみ)を満たす人 ①学部生:出願時からプログラム終了まで正規生として本学の外国語学部1～3年次に在学していること 大学院生:出願時からプログラム終了まで正規生として本学の実践言語教育コースの博士前期課程1年次,または,言語教育領域の博士後期課程1～2年次に在学していること ②日本語教員養成プログラム主専攻(コース1)あるいは副専攻(コース2)を登録し、実践日本語教育1・2・3のいずれかが履修済みであること(外国語学部生のみ) ③通算の卒業要件科目がGPA2.0以上であること(外国語学部生のみ) ④事前学習会の課題に積極的に取り組み、課題の提出期限をきちんと守ることができること ⑤本学指定の海外旅行傷害保険に加入できること ⑥心身共に留学に充分耐えうる健康状態であり、今年度の健康診断(二次検査を含む)を受診していること
費用	実習先により異なる(P.6参照) ※国際交流基金助成金「対象」プログラムに選ばれた人で、日本語を母語とする人には、費用の一部を助成する
引率者	なし
単位認定	<外国語学部生> 【日本語学科】 ・2018年度以降入学者: 学習・実習時間数に応じて、4単位を上限に専門特別演習科目「国内外日本語教壇実習」として認定します。本プログラムでの複数回の参加および単位認定の申請は可能ですが、卒業要件に算入する単位数は、「国内および海外インターンシップ」「エアラインスタディプログラム(JAL)」で修得した単位とあわせて4単位を上限とします。なお、単位認定全体の上限等については、学生便覧に記載の「本学以外の教育施設等および本学独自のプログラム等の学修成果に対する単位認定」を参照してください。 【日本語学科以外】 ・2018年度以降入学者: 日本語教員養成プログラム(コース2)登録者のみ、学習・実習時間に応じて4単位を上限に自由選択「国内外日本語教壇実習」として認定します。本プログラムでの複数回の参加および単位認定の申請は可能ですが、卒業要件に算入する単位数は、「国内および海外

	<p>インターンシップ」「エアラインスタディプログラム(JAL)」で修得した単位とあわせて 4 単位を上限とします。なお、単位認定全体の上限等については、学生便覧に記載の「本学以外の教育施設等および本学独自のプログラム等の学修成果に対する単位認定」を参照してください。</p> <p><大学院生・博士前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容及び時間に応じて、コース共通科目「オーバーシーズ・スタディーズ(1～4 単位)」として認定します。
--	--

※選考について

プログラム	<p>国際交流基金助成金「対象」プログラム ※選考あり</p>
	<p>①東呉大学(台湾)</p>
選考方法	書類選考

＜日程表(予定)＞

日 時	内 容	場 所
10/4(火) 12:50～13:40	募集説明会	R432
10/4(火)～ 10/18(火) 17 時	出願受付	※詳細は P.4 参照
10/27(木)	選考結果通知 ※出願者の京都外大 Gmail 宛にメールで通知	
11/9(金) 12:50～13:40	第 1 回オリエンテーション 今後のスケジュール・必要書類の配布	R432
12/13(火) 12:50～13:40	第 2 回オリエンテーション 海外旅行傷害保険について	R741
12/14(水) 12:50～13:40	第 3 回オリエンテーション 危機管理について	R741
12 月～2 月	事前学習会(複数回) ※後日、本学指導教員から通知あり ※事前学習の課題が達成できない場合や指導教員の指示に従えない場合は、参加を取り消すことあり	
3 月上旬～	出発・実習開始(3/1(水)～3/15(水)頃を予定)	
未定	事後学習会・成果報告会《全員フォーマルな服装》 ※成果報告会は日本語学科の授業で行う予定 ※詳細は、京都外大 Gmail 宛に通知	
未定	実習レポートをメールで提出	国際部および指導教員宛

* 上記以外にも学習会・オリエンテーションを行う場合があります。

<出願方法>

下記の書類を1つのPDFデータにまとめ、件名を「海外日本語教壇実習 出願」として、国際部 (outgoing_oips@kufs.ac.jp)へメール添付で提出してください。

① 願書(所定用紙)

② 志望理由書(A4・1枚)

※手書き不可。本文は800字以内(日本語)とし、必ず学籍番号と氏名を明記すること。

③ 確約書(所定用紙)

④ 成績証明書(日本語)

※博士前期課程の大学院1年次生は大学の成績証明書、博士後期課程の大学院生は修士の成績証明書を提出すること。

I 参加する際の留意点・約束事

実習先機関の協力で成り立っていることを十分に認識し、下記の事項を必ず守ってください。
(教育実習生は生徒・学生の前では教師です。下記の事項以外でも教師としての自覚を持ってそれに見合った行動を心がけてください!!)

誓約書

契約関係のうえに成り立っているということを十分心得て、個人個人が確固たる自覚を持って実習に取り組んでください。実習中のトラブル発生時の責任の所在を明確にするために誓約書を提出します。

リスクマネジメント

実習中に発生した事故やトラブルに対しては、原則として参加実習生個人の自己責任において処理し、問題解決までを行います。あくまでも社会のルールにのっとった姿勢で実習に臨んでください。

守秘義務

実習中、実習先にとっての機密や個人情報等に触れる機会がありますが、こういった情報を公開したり漏洩したりすることは、社会人として信用性を疑われるだけでなく、法的責任を課せられることにもなりかねません。勝手に資料をコピーしたり、許可もなく外部に持ち出すなどの行為等は絶対に行わず、責任を持って行動してください。

プライベートは自己責任

時間外のお付き合いは実習ではありません。従って、その際の行動は完全な自己責任の範囲となります。

保険の加入

実習中の事故に備えて、「海外旅行傷害保険」に加入することになります。

無断欠勤・遅刻

実習中は実習先の規則を遵守し、遅刻・無断欠勤等は厳禁とします。時間に余裕をもって出勤するように心掛けましょう。実習期間中に病気や緊急の用件等でやむを得ず欠勤・遅刻をする場合は、必ず実習先担当者に連絡を入れてください。

服装・髪型

勤務における服装は、その実習先の文化に見合ったものとし、清楚な印象を持たれる服装を心掛けてください。髪型についても、実習先の指示がある場合はそれに従ってください。

経済的報酬

報酬はありません。プログラム中の交通費及び食事代等は原則として自己負担となります。

II 単位認定について

実習期間中は、日々「実習レポート」を各担当教員に提出することになります。提出方法については担当教員および国際部の指示に従ってください。

なお、「実習レポート」を提出されない場合は単位認定されませんので、ご注意ください。

★国際交流基金助成金受給者は・・・

上記事後学習レポートと合わせて、国際交流基金所定用紙「インターン派遣事業報告書」をメール添付で国際部(outgoing_oips@kufs.ac.jp)へ提出しなければなりません。

III 受入れ機関

実習機関	東呉大学(台湾)
募集人数	2～3名 (国際交流基金助成対象者3名)
実習期間	3月1日(水)～3月15日(水)(2週間) (予定)
宿舎	学生寮(予定)
費用 (概算見積)	約20万円 (渡航費、海外旅行傷害保険料、宿泊費、実習経費(コピー代等)等を含む) ※実際の費用は為替レートや燃油サーチャージの関係で、概算見積の費用から大幅に変動する可能性があります。正確な金額は、12月中旬を目途にお知らせします。 ※国際交流基金助成対象者には、1名あたり99,786円を上限に助成します。
備考	

IV 海外旅行傷害保険

本学ではプログラムの実施にあたっては、参加者の安全確保を第一に計画していますが、プログラム期間中、病気やけがをした場合、多額の治療費や移送費等がかかる場合があります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難な場合があります。

したがって、プログラム参加者に対しては、本学が指定する海外旅行傷害保険への加入を義務付けていますので、所定の期日までに必ずプログラム全期間をカバーする保険に加入してください。

なお、保険の詳細および加入方法については、出発までのオリエンテーションの中で案内します。

◎お問い合わせ

<実習内容について>

日本語学科 長濱 拓磨 先生

t_nagaha@kufs.ac.jp

<手続きについて>

国際部

075-322-6043

outgoing_oips@kufs.ac.jp

京都外国語大学

2022年度春期海外日本語教壇実習プログラム願書

外国語学部 _____ 学科		写 真 縦 4.5cm×横 3.5cm (上半身正面脱帽)	
外国語学研究科 異言語・文化専攻 <input type="checkbox"/> 博士前期課程（実践言語教育コース） ・ <input type="checkbox"/> 博士後期課程（言語教育領域）			
年次	クラス		
学籍番号		性別	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女
フリガナ		生年月日	(西暦) 年 月 日
氏 名			
現住所	〒 _____ 電話番号： _____		
フリガナ		続柄	
保証人氏名			
保証人住所	〒 _____ 電話番号： _____		
志望実習先 第2～4志望が無い場合は、 「なし」と記入すること	第1志望	東呉大学（台湾）	
	第2志望		
	第3志望		
	第4志望		
	国際交流基金助成金 対象プログラムの 選考にもれた場合	助成金無しの実習先でも実習を希望しますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
GPA（通算の卒業要件科目）			
《備 考》			
携帯電話番号：		京都外大 Gmail：	@kufs.ac.jp

※ご記入いただいた個人情報は、今回の海外日本語教壇実習プログラムの選考にのみ使用し、国際部で責任を持って管理します。
また、本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。

京都外国語大学 国際部
受付日 ____ / ____ 受付 _____

確 約 書

京 都 外 国 語 大 学 学 長 殿

私は、海外日本語教壇実習プログラム選考試験の出願に際して、下記の事項を確約します。

1. プログラムにかかる経費を準備する必要があるので、事前に保証人等の経費負担者の了解を得たうえで出願すること。
2. 選考結果に異議を申し立てないこと。
3. 合格後は、本学が正当と認める以外辞退できないこと。
4. 合格後に所定の誓約書を保証人連署で提出すること。なお、誓約書を提出できない場合は、合格を取り消されても異議を申し立てないこと。

年 月 日

学籍番号 _____

学生氏名 _____ 印